

公安委員会定例会議(第3回)の開催状況

第1 日 時 令和6年2月7日(水)
午後2時03分 ~ 午後3時43分

第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 小野委員説示

本日は、私の地元で開催されている「新居浜太鼓祭り」についてお話ししたいと思います。新居浜太鼓祭りは、毎年10月に開催される伝統的な祭りで、四国三大祭りとして知られており、喧嘩祭りとしても有名です。新居浜出身者は、お盆や正月には帰省しなくても祭りには帰省すると言われ、多くの企業が休みになるなど、市民の誇りであり地域文化でもあります。

太鼓祭りの原形は、平安とも鎌倉時代とも言われていますが、現代の太鼓台は、江戸時代に銅山が開坑し、豊かになるにつれて絢爛豪華、大型化し、高さ5.5メートル、長さ13メートル、重さが3トンにもなりました。太鼓台には車輪が付いており、50台余りの太鼓台が200人のかき夫と共に地区を練り歩きます。

太鼓祭りは、勇壮なかき比べが最大の見所ですが、一方で太鼓台の喧嘩と言われる「鉢合わせ」も伝統的に行われてきました。かつては農民の田畑の水を巡る対立、漁業者の漁場を巡る争いなどが喧嘩の所以と言われていましたが、次第に自治会の団結や強さの象徴となり、これまで死傷者が出ても太鼓台は継続して運行されてきました。

しかし、近年の喧嘩は、繁華街や居酒屋でのめんど、インターネット等による誹謗中傷等に端を発した個人や自治会の体面が原因になることが増えたように思います。加えて、市民が喧嘩を期待して拍手や声援で煽ったり、太鼓台の増加や少子高齢化によるかき夫不足が深刻化し、喧嘩をする太鼓台が人気を集めたりする傾向があるように思います。

その結果として、市外からのかき夫の招集、いわゆる「外人部隊」による過度な暴力行為や統制の取れない太鼓台が増加し、本来の勇壮華麗なお祭りが、乱闘騒ぎや暴力行為の激化等の形でマスコミに取り上げられることになり、市民や関係者は深刻な危機感を感じるようになりました。

そうした反省から、令和5年は行政、警察、運営組織が一体となって様々な見直しに取り組んだ結果、鉢合わせが1件発生したものの、イベントの中止や大きな時間変更等もなく、無事に祭りを終えることができました。

太鼓祭りは今後、イベントのあり方などの課題も出てくるとは思いますが、かき比べが観光客の誘致に成果を挙げている模範的な地域もあります。警察職員の皆さんには、平和で魅力ある新居浜太鼓祭りの実現に向け、今後も積極的な御支援、御協力をお願いしたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第2回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(4) 審査請求の申立て

警務部から、審査請求の申立てについて伺いがあり了承した。

(5) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

(6) 指定射撃場との技能講習事務業務委託契約の解除

生活安全部から、指定射撃場との技能講習事務業務委託契約の解除について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和6年度当初予算の概要

警務部長から、令和6年度当初予算の概要について報告があった。

委員から、「予算を積極的に活用し、横断歩道の摩耗等、道路標識や標示の補修に計画性を持って迅速に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(2) 令和5年中における自動車警ら隊の活動状況

生活安全部長から、令和5年中における自動車警ら隊の活動状況について報告があった。

委員から、「職務質問による実績は、日々の隊員の訓練や活動の成果であると思う。自動車警ら隊の積極的な活動が警察のイメージアップにもつながることから、職務質問の技術を磨き、今まで以上の成果を挙げてくださいことを期待している」との発言があった。

委員から、「職務質問で検挙に結び付ける技術には感心する。薬物事犯も社会問題となっていることから、今後も目を光らせて積極的な活動をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「職務質問は現場で様々な判断が要求される難しい活動だと思うが、多くの若手警察官が技術を磨いて早く一人前となれるように研鑽を積んでいただきたい」との発言があった。

(3) 令和5年中の経済安全保障に関する取組状況

警備部長から、令和5年中の経済安全保障に関する取組状況について報告があった。

委員から、「日本企業は、経済安全保障に関するガードが甘く、いわゆるハニートラップや技術提携と称した行為によって技術を盗まれるケースが多いと思う。講習会の開催等、地道な活動によって危機感の醸成に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「スパイ映画のような行為が実際に発生していることを知って驚いた。全ての企業が警戒し防御しているわけではないと思うので、各種機会を利用して危険性や手口を周知し警戒心の向上に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「日本の産業技術は狙われているという意識を高めていくことが重要だと思う。今後も取組を継続し技術の流出防止に努めていただきたい」との発言があった。

(4) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関して報告があった。

4 その他

(1) 総務室長から、本年2月12日、西条市において開催予定の「愛媛県警察音楽隊ふれ愛コンサート」について報告があった。

(2) 本部長から、「委員から、新居浜太鼓祭りに関するお話をいただいた。大勢のかき夫と太鼓台が鉢合わせを始めると制止は容易でないことから、令和5年は、事前対策として行政、警察、運営組織の連携を強化し、事態が大きくなる前に対策を講じることに重点を置いて各種施策に取り組んだ結果、大過なく終了することができた。昨年の新居浜祭りの対応は他の祭典警備の参考となる事例であったと思っている。県警察としては、市民が安全で楽しめる祭りの開催を目指し、今後も関係機関と連携し諸対策を講じてまいりたい」との発言があった。

以上